学校番号	１００１

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ （日本史Ｂ－２）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	日本史Ｂ 新訂版（実教出版）						
副教材等	最新日本史図表　四訂版（第一出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本の歴史を深く学習し、歴史的思考力を培い、知識・理解力を高める。
国際社会に生きる国民としての資質を育成する。
「日本史Ｂ」の後半部分を学習する。

2　学習の到達目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ，我が国の伝統と文化の成り立ちや特色についての認識を深めさせることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる人間としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近世から現代に至る、わが国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、今この国に生きるものとしての自覚と責任感を持つ。	近世から現代に至るわが国の歴史の展開から課題を見出し、地図や視聴覚教材を積極的に利用し、世界史的視点の中で日本と世界の未来を考え、公正に判断する。	近世から現代に至るわが国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を活用することを通して歴史的事象を追及する方法を身につけるとともに、結果を適切に表現する。	近世から現代に至るわが国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち、わが国を取り巻く国際環境などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	近代・現代	・幕藩体制の展開と国際関係	○				a：日本の近代化や敗戦からの国家再建の過程を意欲的に考察し、諸外国との関係に関心を持の過程や結果を適切に判断する b：日本の近代化の過程や文化形成の学習を通じて課題を見出し、多面的・多角的に考察し、構成に判断している c:事例に考察に必要な諸資料を収集・選別し、読み取った結果をまとめる d:設定された主題について、近代化・国際化とその結果を理解する	ワークシート 定期考査
5		・幕藩体制の展開と元禄文化	○	○				
6		・幕藩体制の動揺と化政文化	○					
7		・開国と明治維新	○					
		・立憲国家の成立と国際関係	○		○	○		
8		・近代産業の発展	○					
9		・第一次大戦と日本経済	○			○		
10		・政党政治と大衆文化	○					
11		・軍国日本の形成と第二次大戦	○		○			
12		・戦後日本の国家再編	○					
1		・国際社会と高度経済成長	○			○		
2		・経済大国日本と国民生活	○	○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。